

病床が全て稼働していない病棟を有する医療機関について

1 考え方

(1) 国通知（H30.2.7「地域医療構想の進め方について」）の内容

国通知では、病床機能報告の結果等から、病床が全て稼働していない病棟（過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟をいう。）を有する医療機関を把握した場合には、速やかに、当該医療機関に対し、地域医療構想調整会議（以下「調整会議」）へ出席し、①病棟を稼働していない理由、②当該病棟の今後の運用見通しに関する計画について説明するよう求めることとされた。

なお、病院・病棟を建て替える場合など、事前に調整会議の協議を経て、病床が全て稼働していない病棟の具体的対応方針を決定している場合は、この限りでないこととなっている。

(2) 本県での対応

- 対象医療機関数が多いことを踏まえ、平成29年度病床機能報告（H29.7月時点）に基づき休棟中等の病棟をもつ医療機関に対して次項の調査を行ったうえで、各調整会議へ報告する。
- 各調整会議において、さらに説明を求める必要があると判断した医療機関については、次回以降に調整会議への出席等を求める。

2 県からの調査結果概要

- 調査期間：平成30年6月22日～7月10日
- 調査対象：29年度病床機能報告において、
 - ①H29.7の病床機能を「休棟中」として報告した病棟または診療所（29病棟・19診療所）
 - ②H29.7の病床機能は「休棟中」以外（急性期、回復期など）の機能で報告しているものの、全病床を「非稼働病床」（過去1年間患者が入院していない）と回答した病棟または診療所（6病棟・23診療所）

(1) 調査対象病院の状況（29年度病床機能報告（H29.7時点））

医療圏	①休棟中		②全病床非稼働		計	
	病棟数	病床数	病棟数	病床数	病棟数	病床数
横浜	4	175	1	6	5	181
川崎北部	0	0	2	62	2	62
川崎南部	1	41	1	4	2	45
相模原	7	227	0	0	7	227
横須賀・三浦	11	435	1	6	12	441
湘南東部	0	0	0	0	0	0
湘南西部	3	79	0	0	3	79
県央	0	0	1	8	1	8
県西	3	102	0	0	3	102
計	29	1,059	6	86	35	1,145

(2) 調査対象病院の回答集計 (H30.6~7 調査実施時点)

ア 休棟・非稼働の理由

非稼働・休床の理由 (複数回答可)	病棟数	病床数
スタッフの不足	17	510
利用者の減少	11	382
分娩取扱休止のため	1	55
工事に伴う一時的な休止	8	245
その他	11	312

<「スタッフの不足」の不足職種内訳>

不足職種	回答病棟数	不足人数の合計
医師	5	合計 8人
看護師	15	合計 210人
介護士	3	合計 25人

<その他の内容>

- ・分娩休止に伴う小児病棟・産科病棟の休止
- ・臨床試験センター病棟及び業務室等として稼働
- ・大学病院との機能分化・役割分担検討等のため
- ・病床機能見直しのため
- ・建物老朽化
- ・改修工事による休床後、看護師・若手医師等の不足による再開困難
- ・将来的に神経難病緩和ケアを対象とした診療を行う予定があるので休床

イ 今後の再開見込・予定等

今後の予定等	病棟数	病床数
既に再稼働済み	5	100
再開予定時期の見込がたっている	12	466
病床返還を予定	1	10
その他	17	569

<その他の内容>

- ・スタッフの確保がつき次第再開したい (7箇所)
- ・大学病院への移設・統合を予定
- ・介護療養病床のため、介護医療院への転換等を検討、方向性が固まり次第、市担当者とは相談していく予定
- ・建物老朽化のため移転を検討しているが、適当な場所が見つからない
- ・同法人病院から病床を移動し増床又は病床返還し機能訓練室への改修を検討
- ・市立病院の将来構想策定中、この中で今後の方針決定
- ・次期中期計画 (H32~36) に向けた議論の中で検討
- ・行政と協議しつつ、大学医局を中心に医師の派遣を依頼
- ・病棟建替の際に患者数を鑑み、精神科病床と併せて整理する予定
- ・H32 に病院の移転建替を予定

※各地域の調整会議においては、該当する病院名及びその回答状況も含めて報告

(3) 調査対象診療所の状況 (29年度病床機能報告 (H29.7時点))

医療圏	① 休棟中				② 全病床非稼働				合計	
	診療所規模			病床数 合計 (床)	診療所規模			病床数 合計 (床)	診療所数 (箇所)	病床数 合計 (床)
	10-19床 (箇所)	5-9床 (箇所)	4床以下 (箇所)		10-19床 (箇所)	5-9床 (箇所)	4床以下 (箇所)			
横浜	2	1	4	53	3	1	7	68	18	121
川崎北部	1	1	2	26		1		8	5	34
川崎南部	3	1	1	56			4	7	9	63
相模原				0		1		8	1	8
横須賀・三浦				0	1	1	1	19	3	19
湘南東部			1	2	1			19	2	21
湘南西部				0				0	0	0
県央	1			19		1	1	6	3	25
県西	1			15				0	1	15
計	8	3	8	171	5	5	13	135	42	306

(4) 調査対象診療所からの回答集計 (H30.6~7 調査実施時点)

ア 休棟・非稼働の理由

非稼働・休棟の理由 (複数回答可)	診療所数	病床数
スタッフの不足	14	184
利用者の減少	12	160
分娩取扱休止のため	5	20
母体保護法指定施設としての病床だが、対象案件がないため	6	19
入院を要する対象患者がいなかったため	4	14
工事に伴う一時的な休止	1	19
その他	6	32
未回答	7	23

<スタッフ不足の状況>

不足職種	回答箇所数	不足人数の合計
医師	8	合計 21人
看護師	12	合計 49人
介護士	2	合計 2人
調理師	1	合計 2人

<その他の内容>

- ・短期入所として使用
- ・手術利用のため
- ・臨床試験にて使用
- ・点滴、日帰り手術の休養用にのみ使用 など

イ 今後の再開見込・予定等

今後の予定等	診療所数	病床数
既に病床返還 (または減床) 済み	3	16
再開予定あり	3	44
病床返還を予定	7	69
その他	22	154
未回答	7	23

<その他の内容>

- ・スタッフの確保がつき次第再開したい (3箇所)
- ・母体保護法指定施設として病床は確保 (5箇所)
- ・入院対象者がいたときのために病床は確保 (4箇所) など

各構想区域における該当病院からの回答内容

医療機関名	病棟名	病床機能報告(H29.7)での報告状況								追加調査への回答状況			
		医療機能		稼働病床の状況						休棟の始期	休棟中または非稼働の理由 ※スタッフの不足の下は、不足する職種・人数を記載	今後の予定・見込時期等 ※()内は再開時の病床機能	その他自由記載
				一般病床			療養病床						
		H29.7の機能	6年後予定	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数				
独立行政法人 国立病院機構 神奈川病院	4病棟	休棟中	休棟中	10	0	10	0	0	0				
秦野赤十字病院	3階東病棟	休棟中	急性期	44	35	9	0	0	0	H29.4～	○スタッフの不足 (人数記載なし)	○行政と協議しつつ、 大学医局を中心に医師の派遣を依頼	
東海大学大磯病院	2 A病棟	休棟中	休棟中	25	0	25	0	0	0	2013.1～	○スタッフの不足 ○改修工事による休棟後、再開しようとしたが、看護師不足により休棟。現在は、若手医師・看護助手の不足により再開困難	○若手医師及び看護助手が恒常的に確保できる見込みが立てば再開	このほか、回復期リハ病棟について、H30.4～休棟 (収支バランスが悪く、継続するとマイナスが蓄積するため。他病棟や外来収入で恒常的に補うことができる見込みが立てば再開)